

軍 復員局 事務部長

規 則 第五八號

昭和二十一年三月十一日

総務部長

庶務課長

兵 市 復員局 事務部長

復興用材製材協力ノ件

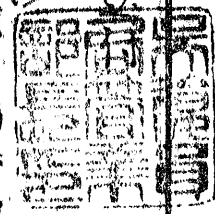
二月九日御來部ノ際要項ノ件ハ調査ノ結果左記ノ通ニ付了承ノ上然ル
ニテ御取計相成度

過テ要項下ラバ寸度別數量、製材費等詳細ニ曉メテハ當部御取計ニ
交渉相成度

記

一 三月一日以降概本毎日四〇石程度ノ製材可能アリ
二 先ニ該部々々製材機一台ヲ當部製材工場原位置ニ復舊（概本十日以
内ニ復舊可能ノ見込）セバ更ニ製材能力ヲ増加ス（所有機ハ青市ニ
在ル儘）
三 原木ハ青市所有ノモノヲ使用ス（大川ニ浮中ノモノハ盜掘ノ誤大ナ

二月十一日送



兵地方復員局營業部長



海軍

21912
0244

由一但ノ傳報ニ手間取ル場合ハ一時常備ノモノヲ立テ換ヘ兼支ナシ
四月下左ノ額不足ニ付幹旋ヲ受ケナハ更ニ能力ヲ増加ス

五 二〇番ノイロ 常備 二〇〇限

(終)

海
軍

0245

寫

兵復員局長官啓

兵復員出第百六三編

昭和二十一年二月十三日

二月十三日送附

多摩部

部

兵復員局長官

中央食糧管理門副支局長殿

軍用米移管ノ件通知

二十年度海軍制米ニシテ未受領ノモノ別紙ノ通りニツキ貴所平移管致
儀ニ付之由配給等ニ關シ可然乎配相成度
通函食糧管理局ニハ貴所ヨリ連絡相成度

(別紙一葉 送)

(終)

編送付先 兵地方復員局長官、兵復糧品部長、大分縣知事

大分縣食糧管理本部、〇一〇、目通大分支店

海軍

0246

別紙

番	繪巻本文書	地	城	發	庫	俵	數	品	種	編	年	月
六〇七三	高	並	新	光	寺	八	一	繪	卷	十九	年	十月
六八六	直	見	直	見	一	〇	〇	繪	卷	二〇	年	二月
六四九	直	見	直	見	一	〇	〇	繪	卷	二〇	年	三月
馬八二一	宇	佐	宇	佐	八	〇	〇	繪	卷	二〇	年	四月
六五七	鎌	口	善	光	寺	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六五八	八	橋	〃	〃	〃	五	五	〇	〇	〇	〇	〇
六六一	三	重	三	重	町	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六一一	明	油	明	油	〃	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六一七	〃	〃	向	ノ	風	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六一八	〃	〃	〃	〃	〃	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六一九	五	重	五	重	町	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六一八	〃	〃	〃	〃	〃	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
合	計	〃	〃	〃	〃	五	七	五	〇	〇	〇	〇

海軍

0247

昭和十一年四月十日

局長

局長

総務部長

総務部長

部

員

⑨

代表者 局長 清野 七

⑩

貴地方復興局高書

⑪

今般現下... 復興局... 局長... 昭和十一年四月十日

臨河産心成事
絶後中
静強
賜
也

0249

20

三四五

(起案用紙)

書類
番號
吳鑑録第五一五號
日附
文書
三年二月十九日

右兩地外、建物、敷地ヲ日本漁民組合本部
ヲ後援トス
林澤源

田大浦美野子河川敷跡
廣島縣吳市音戸町坂多見所在
山崎徳山寺大津島所在

國有財産ノ使用許可ノ間ニ付組合

施
廣島縣務局長
伊達 宗彰

起案
ノ旨

發
吳地不復歸ノ故
岡田爲次

昭和四年二月十九日
起案者
捺印
査閱
淨書
校合
又
月
日發付
2
捺送後起
捺印

局長官

參謀長

參謀副長

補給長

參謀

副官

首
次

觀
督
政
機
補
航
通

參謀部
仕

副官部
仕

附務主

海軍

0321

0250

1911年 11月 10日

專門學校 州 入 同 入 校 用 地 址 一 付 角 海 兵 衛 門 場 上 等 行 使 用 せ ば
度 計 一 可 然 取 計 得 度

詳細 明 示 不 可 得 事 業 上 支 一 致 上 達 務 問 答 者 日 連 絡 申 上

申 上 候

高 事 件 乃 之 後 之 有 申 候 當 面 之 於 之 全 然 同 意 且 各 方 面 之 解 決 申 上

天 之 行 申 候 候

(別紙 中國煙業專門學校創立計畫書一部係)

0251

0250

(The Chugoku Fisher's Technical School)

中興漁業專門學校創立計畫

一、目的

後見青少年ヲシテ遠洋漁業（船機捕鯨等含ム）及近海漁業ノ學問技術ヲ習得セシメ併セテ水産加工業、漁船造船、船用機關ヲ授ケ以テ過剩人口ノ水産國ヘノ進出ヲ指導セントス

二、校 舎

(1) 本 校

吳市音戸町渡多見（舊高島）ノ旧大田風部隊兵舎及隣接工廠

(2) 分 校

徳山市大津町、大津師部隊跡

三、取 扱 科 目

修業年限

収容生徒数

(1) 漁 撈

科三ヶ年

毎學年二百名

(2) 水産加工

科三ヶ年

毎學年二百名

(3) 漁船造船

科三ヶ年

毎學年二百名

(4) 船用機關

科三ヶ年

毎學年二百名

一、開 校

昭和二十年四月（募集着手二月）

計 二四〇〇名

一、経営主体 (Japan Fishermen's Union)

日本漁民組合本部 (東京都丸の内三ノ二、三菱二十一ビル、二二九號室)
 (電丸ノ内六一七七) 本部台八至九三、千八百四十四番地、八十五番地
 氏ノ相尋候間トシテ昭和二十一年十一月創立マツカリー司令部大然資源
 部漁業課長フイードラ―中佐ノ承認指導下ニアリ

(Natural Resources Section, G. H. O.)
 (Fishery Division, Lt.-Col. Fiedler)

二、編成員仕名

組 台 長 田 原 登 久 (東京大森壽ケ台八) 前代総士)

顧問員仕名 剛 田 栄之助 (宮原町十一丁目縣議員)

中島 四山 縣員仕名 多 賀 安 郎 (倉敷市濱田町) (本部國際部長)

鳥取縣員仕名 庄 司 彦 男 (鳥取縣四日市渡村) (本部組主事)

六、教育方針

員皆ヲ主トシ併セテ英語、ロシア語、マレー語、文那語ヲ授ケ本國沿岸
 カムチャツカ方面、アラフツ海、東支那海、南洋方面ニ出漁シ得ル實際
 的中堅漁民ノ育成

一、員智成補

左記本以及び分後ノ既仕設部ヲ審リ又ケ別ニ英海ノ小艇宛付物ヲ取リ受ケ
テ之ニ新ニ附映水機、富士水機、林芝、扇車等ヨリ教又用又材ヲ搬運セシ
ム（定供万承諾骨）

二、員智工場

- (イ) 油網工場
- (ロ) 油機工場
- (ハ) 機油工場
- (ニ) マニラロープ工場
- (ホ) 船造船所
- (ヘ) 鉄工場
- (ト) 煤粉工場
- (チ) 源氏病院
- (リ) 附製品工場
- (ヌ) 製油工場
- 河化学製品工場

右員曾上物特ニ徳山分儀解内員省工場ニハ工員、技術員、事務員トシ
テ數千名ノ以員中人ヲ用ヒ侍

六叔 授 輝

水産會所出身者ヲ主トシ之ニ兵隊家ヲ加工、同役山分會中村嘉壽氏ニ
於テ父沙中

一基 金

當初百圓用トシ既ニ調製ス

(終)

0255

九州漁業専門学校訂章

(The Kyushu Fisher's Technical School)

目 次

復員青少年ヲシテ近海漁業技術及水産加工技術ヲ習得セシメ水産立國ニ寄與セントス

一 校 章

福岡縣築上郡築城村字八津田川住ノ元海軍築城航空隊ノ管轄ヲ借用セントス

(註一) 同所行場ハ築城ノ大城守官舎局指針ノ下ニ三変化成之ヲ借

リ受ケタル百十二月二十六日附新聞ニ發賣アリタル石ハ衝走

踏等ニテ充分ノ用ハ足ルベシ怡和庫、共管等ハ絶對必要ノモ

ノニアラサルヲ以テ之等ヲ借用使用セントス

(註二) 紛戦ト共ニ本築ヲ立築シ得申自軍部局并川島三部長ノ手許ニ九

月中旬書紙ヲ提出シ別ニマツカーヤ一司令部大然資源部漁業課

カスノ人職 (Captain Yask) 及在福岡米崎航空隊司令部ハ

トカー大佐 (Colonel Parker) 及在福岡米崎航空隊司令部ハ

ヲ侍ケルトコロコノ間ノ経過ヲ照会財務局、廣商會同等ニ週知セザリシタメニ変化成ニヨリ消定路ヲ昏ラレタルモノナリ

六 設備科目

(イ) 漁撈 料 毎年日名 訂三日名 六百名

(ロ) 水産加工料 毎年日名 訂三日名

一 開 校

昭和二十一年四月トス

一 程 度

三ヶ年ノ專門学校トス

一 資 質 設 備

(イ) 魚粉工場

(ロ) 漁網工場

(ハ) 職工 場

(ニ) 労働 庫

(四) 附屬品 工場

一 基 金

當初金五十萬圓ヲ用意ス

0257

一、經營者 日本漁民組合本部

組長 田原 春次 (東京大塚善ヶ谷町八〇)

顧問委員 齊藤 彌太郎 (豊前水産實業所長) 福岡縣京都郡今元村 尾

加來 信司 (前大倉高岡教頭) 福岡縣築上郡葛城村水原

田 八一六 (地元代表) 福岡縣築上郡八草田村洞津

二、役員表

石谷工場 上員トシ小運送、日結渡園等ニ奴白名ヲ役員トシ人ハ常用トシ得

(終)

○ 高良宗七

二平部と云ふ

○ 土津島

梅田氏

石川

0259

寫

大阪地方復興局
總務部長 殿

阪復總第(四)號

昭和三十一年二月二十五日

二月五日送付

大阪地方復興局總務部長

第十海軍航空廠殘務整理班長 殿

旧十空廠自動車部大阪工場殘務処理

=關スル件照會

首題工場施設、終戦後、処理ニ関シ當時、工場主任
花園少佐、来局ヲ求メ當局ニ於テ調査セル処実
情左記ノ通ニ付至急可然処理相成度

記

一、同工場ハ花園少佐十空廠長、命ヲ承ケ昭和三十年五月
初旬設立準備ヲ開始セルモ當時適當ナル買収

証
印

0260

工場見當ラズ阪敵言指導ノ下ニ各所奔走シテ之如
偶々大平自動車株式會社社長ノ献身的ナル厚子
意ニヨリ會社ヲ買收（阪陸査定施設及機械器具
十七万圓部品代十八万圓人件費其ノ他三万圓
計三十八万圓）之ヲ第一工場トシ日本機械工学校ヲ買
收（阪陸査定施設及機械器具約三十五万圓實際支
拂額約四十一万圓）ノ上第二工場トシテ使用スルコト
ニ決定六月十日夫々假契約ノ上作業ヲ開始セリ
ニ終戰時工場主任花岡少佐ハ偶々吳ニ出張中ナリ
ヲ以テ処理ニ関シ十一空廠自動車部長生塩大佐
ノ指示ヲ受ケ買收時及買收後モ献身的努力
ヲ爲セシ大平自動車株式會社ニ第一第二工場共
（第二工場ハ工学校側ニ於テ買收ニ関シ誠意ナカリシ

0261

爲) 無償讓渡ノコト、シ別紙ノ讓渡証ニヨリ

之ヲ讓渡セリ

三其ノ後九月初旬十一空廠ヨリ第一、第二工場主

ニ對シ買收金ヲ送附セリ

(所見)

右無償讓渡ノ如置ハ十月十七日附軍務局長ノ終

戰時放出物資ノ有償轉換指令ニモ鑑ミ尤痛

如置スルヲ可ト認ム

(1) 今白尚海軍トシテ名儀変更及登記未了ナルニ鑑

貴部ニ於テ買收契約ヲ取止メ第二工場主ニ對シ

期間中ノ貸借料ヲ(諸経費ヲ含ム)ヲ支拂フ

尚部品ノ購入、疎用工場ノ建設等ニ関シ第一

工場主ハ物心両面ニ絶大ナル犠牲ヲ拵ヒアルニ付貸

毎 頁

借料、査定時コノ矣考慮ヲ適當ト認ム
追而第二工場ハ工場主ト第一工場主トノ間ニ於テ
協議、上終戦後各儀変更手續ヲ了スベシアリ
（四）讓渡証中ノ保管車輛中終戦後海軍ニテ
引取リタルモノ以外ノ車輛ハ大阪地方復員局
ニテ「リスト」外物件トシテ大阪府ニ移管ノ
コトニ処理ス

寫送付先

关地方復員局 總務部長

同

經理部長

大阪地方復員局 經理部長

終

0263

美濃全第十三行質紙

讓渡證書

第上海軍航空廠自動車部大阪工場主任

大平自動車工業株式会社社長殿

大阪工場讓渡ノ件

第上海軍航空廠自動車部大阪工場ヲ大阪市

住吉区上住吉町二六五 大平自動車工業株式会社

社長大平 勝氏ニ対シ左記條件ノ下ニ昭和三年

八月三十日附ヲ以テ別紙ノ通無償讓渡セルコトヲ證

明ス

條件

第一 去ル八月十五日 譲渡セラレタル 證書ニ則リ一

大御心ヲ体シテ如何ナル困苦欠乏ニ遭遇スルト

モ當工場ノ使命ヲ稽ハテ護國ノ大任ヲ全クセ

每頁

ニ事ヲ誓フ

第二 今後ニ於テ日本海軍再興ノ秋ハ軍ノ指令

ニ從ヒ相協力ス

第三 元海軍軍人ニシテ當会社ニ就職ヲ希望スル者ハ現自動車部長及花岡主任ノ照会ニヨリ就職協議ニ應ズルモノトス

0265

別紙

一、第一工場

イ施設關係

1 事務所至不造二階建瓦葺二二、七四坪

2 単体整備場不造平家造スレート葺一〇一、〇坪

3 鋸金鍛造平家造鉛鍍鐵板葺四五坪

4 木工場鐵柱工場、不造平家造鉛鍍鐵板葺四〇坪

5 烹炊風爐、不造平家瓦葺一七、五坪

6 雜物附屬品一切

ロ機噐工具及器具關係

1 旋盤 三臺及附屬品一切

2 ボール盤 一臺及附屬品一切

3 鍛冶爐 一臺及附屬品一切

美濃市立第一工場

0266

4 電動機 三臺及附屬品一切	5. ホーリンクマシン 一臺及附屬品一切	6 ポーニングマシン 一臺及附屬品一切	7 重鋸 一臺及附屬品一切	8 其ノ他 自動車機械分解器具一切	9 烹炊器具及瓦器一切	10 其ノ他事務關係器具一切
----------------	----------------------	---------------------	---------------	-------------------	-------------	----------------

0267

二 第二工場

イ 建物及施設關係

1 仮舎、不造二階スレート葺三四、五坪

2 實習場、不造平家造スレート葺五八、五坪

3 生徒控室兼便丁室不造平家造スレート葺一七、二坪

4 煮炊具屋、不造平家造七坪

5 鞋具類一切

ロ 機械工具器具關係

1 旋盤 八臺（八臺ハ附屬ニ譲渡）附屬品一切

2 ボール盤 一臺及附屬品一切

3 ロクロ旋盤 四臺（四臺ハ附屬ニ譲渡）

4 鋸 刀 四臺（四臺ハ附屬ニ譲渡）

5 鍛冶 爐 一臺及附屬品一切

五
五

6 電動機 二基及附屬品

7 器具、安具、工具一切

8 學粉關係安具一切

三、自動車關係（各所轄ヨリ受領ニ來レバ引渡スモノトス）

大型乗用車三臺（故障一臺修理不調二臺大修理ヲ要スモノトス）

普通乗用車二臺（警備府、補給部大修理ヲ要スルモノ）

三輪車一臺（マツダ東成會社ヨリ購入ノモノ大修理ヲ要ス）

一臺（クロガネ通信隊修理不調品）

一臺（クロガネ西呂空ノモノニシテ修理不調品）

ダットサン一臺（徳島空修理不調）

貨物車一臺（不明修理不調）

軽トラツク一臺（十一空廠會計部大修理ヲ要ス）

側車附自動自轉車一臺（修理不調ノモノ）

善後三章十三頁附紙

貨物自動車一臺（完備魚雷班ノモノ）

四借家並ニ借地關係

イ村上萬次郎所有ノ二階建瓦葺一棟並ニ敷地

ロ第一、二工場敷地及第一工場周囲ノ土地疎開倉庫及敷地等借用ノ儘名

義變更讓渡ス

附記

第三項ノ自動車ハ第十一海軍航空廠補給部長ノ證明ヲ持参シタル時

ハ之ヲ返納スルモノトス

但シ海軍解散以後ニ在リテハ返納セザルモノトス

「終」

原 頁

0270

Table with 10 empty vertical columns and 1 row.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0271

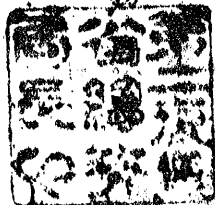
吳地方復員局事務

二復員總局第一七〇

昭和二十一年二月二十三日

各地方復員局長官 殿

爲二復員備總務



陸軍省令報申
五十部作成ノ下

舊海軍復員接護會保有物資ノ取扱ニ關スル件申進

舊海軍復員接護會保有物資ニ關シテハ凡テ追加目錄作製ノ上聯合國軍ニ
人事行 引渡スベク一接收終了縣ニ在リテハ直接都道府縣ニ引渡ス一指令セラル
テ爾原未ダ處分未済ニシテ摘發又ハ地方民ト物議ヲ起スモノ有之ヤニ仄
々聞スルハ甚ダ遺憾トスルトコロニ有之爾今之ガ取扱ニ關シテ一別紙ノ類
記理行内務省ト協議致候條可然指導方収計相成度

一別紙添

改助

令報發

夏九

寫送付先
各地方人事部長
同 文部部長

一終

0272

憲法

内務省發令第二四六號

昭和二十一年二月十六日

内務省調査部長

第一復員管轄局長

第二復員管轄局長

各地方行政事務局長官殿
各地方行政事務局長官殿

舊復員管轄會及海軍復員管轄會
ノ舊復員管轄會及海軍復員管轄會
ノ舊復員管轄會及海軍復員管轄會

標記ノ件ニ關シ請令左記ニ依リ處理スルコトト在候條御了知ノ上可然
御措置在候度此致及御願儀

記

一 舊復員管轄會ニシテ海軍復員管轄會又ハ海軍復員管轄會ニ於テ夫

々 添有セル物資中民生安定用トシテ使用シ得ルモノハ概ナ所在都道府
縣ニ於テ之ガ引渡ヲ受ケ御命書ヨリ返還ヲ受ケタル物資ノ物ニ依リ指
直スルコト

二 前號ニ依リ指直スルコトトスルモ救済輔導會又ハ復員援護會解散後之
ガ援助ニ依リ設立サレタル團體等ニ於テ食糧増産其ノ他ノ民生復興事
業ヲ既ニ開始シ居ル場合ハ舊該事業ノ重要性・其ノ規模・事業ノ進捗
程度・作業員數等ヲ勘案ノ上該事業運営ニ當リ必要ナル適當品目數量
ヲ優先的ニ拂下テ主要食糧・調味料等ニ付テハ最少限度ノ配給前被ト
スルコトト 但シ事業運営ニ必要ナル品目又ハ適當數量ヲ俟有セ
シメ民生物資ヲ退藏セシメサル所該會御意スルコト

三 前記物資ハ概業輔導會又ハ復員援護會ガ官品ヲ無償取待シタルモノナ
ルトキハ無償交付ヲ受ケ之ガ收入ヲ該物品收入(國庫)ニ納入セシ
ムルコト

四 前記物資ガ有償取待サレタルモノナルトキハ賦分ニ當リ其ノ公定價格
又ハ調辨價格ヲ評價スル如ク措置スルコト

五 前記物資ガニ關スル必要ナル記録ヲ整理保存シ置クコト

寫

皇地ヲ復員同部事務局長殿

二復員部部長五郎

事務課長

昭和二十一年三月二日

庶務課長

部員

部員

庶務主任

第二復員大臣官房庶務部部長

各地方復員局無品部部長殿

内務省側ヨリ艦管無品部長官移管ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ先般内務省ヨリ各都道府縣知事宛至般的ニ指令ス
 ノ承諾ヲ得得リタルモ其ノ後同省ヨリ引渡促進上一應各部ノ製監調査ノ
 上地方別ニ具体的指令ヲ發シ度旨申入アリタルニ付各無品部ニ於ケル引
 渡製監物件ニ就テ別紙長領ニ依リ調査作製ノ上至急送付ヲ得度
 追而接收等ノ關係上新ニ製監物件ヲ生ジタル際ハ其ノ都度調査ヲ送付
 アリ度尙送付總數ハ關係各地方事務所數ノ計ニ大體ヲ加ヘタルモノト
 セラレ候

（別紙添）

（封）

0275

2013.14

別紙

船隻簿(引渡)別紙

<small>神奈川縣</small> <small>(鎌倉郡大船町)</small>	<small>神奈川縣</small> <small>(須賀野市久里濱)</small>	<small>所</small> <small>在</small>
<small>小野</small> <small>(野)</small>	<small>久里濱</small> <small>(濱)</small>	<small>倉庫</small> <small>(名家)</small>
<small>航</small> <small>(主)</small>	<small>内務</small> <small>(用)</small>	<small>管</small> <small>別</small>
<small>備品</small> <small>(備品)</small>	<small>消耗品</small> <small>(消耗品)</small>	<small>類</small> <small>別</small>
<small>艇</small> <small>(艇)</small>	<small>上巻</small> <small>(巻)</small>	<small>品</small> <small>名</small>
<small>個</small> <small>(個)</small>	<small>個</small> <small>(個)</small>	<small>数</small> <small>積</small>
<small>10</small> <small>(10)</small>	<small>100</small> <small>(100)</small>	<small>数</small> <small>在</small>
<small>10</small> <small>(10)</small>	<small>100</small> <small>(100)</small>	<small>数</small> <small>引</small>
<small>0</small> <small>(0)</small>	<small>100</small> <small>(100)</small>	<small>差</small> <small>引</small>
<small>1</small> <small>(1)</small>	<small>100</small> <small>(100)</small>	<small>年</small> <small>所</small>
<small>難</small> <small>(難)</small>	<small>難</small> <small>(難)</small>	<small>記</small> <small>記</small>

0276

備考

一 各都道府縣別ニ調製シ記註ハ艦營需品及兵器ヲ別紙トシ各倉庫ハ民家ニ毎ニ取繰ルコト

二 各倉庫（民家）在庫品ハ數不妻ニ拘ラズ各長主管無ニ備品消耗品

材料品ノ順ニ全部列記ノコト

三 品名ハ艦營需品定額表（兵器簿）記載ノ名稱ヲ記註ノコト

四 引渡数量ヲ取込主裁的ニ漫然ト在庫品全部トスルガ如キハ中央

ニ於ケル折衝上支障極メテ大ニシテ内務省側ノ承諾ヲ得ルコト困難

ニ付同數算定ニハ左ニ留意ノコト

(1) 直ニ民需ニ轉換可能ノモノ（鐵雜品、紙類等）ハ特別ノ理由

ナキ限り在庫量ノ半數以下トスルコト

(2) 民需ニ轉換不能或ハ轉換可能ナルモ差當リ餘額大テラザルモノ

關聯困難ナルモノ等ハ盡量要望スルモ差支ナキ各倉庫ハ民需ニ

ヨリノ引渡希望數方所發量ヲ越シテ超過セザルコト

五 所發量ハ舊曆リ昭和二十一年度（二十二年三月末迄）ノ分ヲ記註

六 (一) 内ハ記註例ヲ示ス

(23)

寫

吳地方復員局總務部長殿

三月二日送付

（編四四）

21.3.

吳復需會第4號ノ三

昭和二十一年三月二日

吳地方復員局需品部長

廣島縣轉用課長殿

轉用物資ニ関スル件通知

最近貴課ヲ通シテ轉用ヤラルル物資・資材中ニハ當部ニ於テ聯合軍ニ引渡未済ノモノ混在シアルヤニ聞キ及ビ候處本件ニ関シテ將來聯合軍トノ間ニ生ズルコトアルニキ問題ニ就キ當部トシテハ其ノ責ヲ負フニト能ハザルニ付御諒知相成度候

終

本件寫送付先

吳地方復員局總務部

海軍

0278

至急

庶務課長

部員

給務部長

給

給務課長

部員

需品部書記室

(模造野紙中葉)

長官

政

吳地

昭和二十一年三月十四日

吳地方復員局總務部長

島山、山口、岡山、高松、香川、徳島、愛媛

大内政部長殿

伊藤

杏園

発布

需品部長

軍需物資接收処理
関スル件依頼

軍需物資
民間倉庫等

貴縣下ニ於ケル元吳鎮守府部隊ニ於テ軍需物資ヲ
 疎開分散格納スル終戦時取出ニ依リ格納等モノミラテテ
 部隊解散ニ依リ其ノ保管責任者解員セラルル其ノ処理者
 継ぎ接收目録ニモ記載ナシテ其ノ保管責任者不明ナル
 貴縣ニ於テ調査トシ接收手續ヲ御取計テ御座ル

愛之六現地進出中ニ連絡

接收轉用方針ニ依リ、上機況ハ通達アリ得

(模造屏紙中集)

保親條

追々大接收條。當復員為、私ノ處理可必必ナルニ

部隊長及仕者有テ復員ノ事ハ處理ナリテ事務書及事務

部ハ、殊ニ更ニ事務物資ノ費盡ル地方行政機關ヲ維持スル

復員ノ事ハ、且時日遷延セバ隱匿物及等ノ州縣ヲ為起

スル虞ニ有之ベシ故、復員等御念之上、改ニ可ク速ニ處理

スル事ヲ申渡シ

今般中其ヨリ経年過シ、堅硬保費、處理ニ付、凡ソ引換情勢等、福波、

横濱等、日海軍ニ作能國條ヲ除キ、二月末日迄、同條地方採用（如道

寫）ヲ精メ、既成局）ニ引継ガ如ク、同條方面ト接衝促進、同ノ指入中、

復員ヲ各邦

接収促進要否有

内務省出告示

各邦 九部
之部 (人事、物品、通社、編部、法部、陸軍部) 之部
寫 三部
送付場 海軍

(17.4. 240.000 永井納)

(B-5)

0280

事
庫

江縣延毛郡城南村五人三番地 藤永子権

(竹秀納)

5880

0281

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

四九〇

各道

皇
清
四九〇
號

青島鐵路
中國海運局
青島財政局

伊達
船
船
伊達
伊達

奉天
後身省
側
二
於
又
合
面
的
工
之
又
作
シ
ト
ん
ス

在
中
央
處
理
會

的
排
下
方
也
配
差
予
得
各

日
本
以
前
後
之
有
名
の
倉